

日本数学教育学会 第10回春期研究大会 「ポスター発表」研究概要執筆要領

- 春期研究大会において「ポスター発表」を希望する発表者は、発表申込の上、研究概要を提出する。また、研究大会当日は、別に定める書式で作成したポスターを持参する。
- 研究概要の締切り

2022年3月31日(木) 正午 ※締切を厳守してください。

- ページ数 A4版で1頁
- 発表資格について：
 - ・2022年2月25日(金) [正午] までに、日本数学教育学会ウェブサイトで開催申込を行う。
 - ・発表者（連名の場合には筆頭著者）は、日本数学教育学会の個人会員とする。ただし、申込時に非会員でも、申込と並行して本学会への入会手続きを行えば、申込できるものとする。
 - ・筆頭著者としてのポスター発表は、1件のみとする。
- 「ポスター発表」の申込み件数によっては、研究概要は、PDFファイルを日本数学教育学会のホームページからダウンロードできるようにする場合がある。この場合、大会参加手続きが完了した方のみに、ダウンロードのためのパスワードを発行する。

I 執筆要領

1. **原稿の書式** 原稿はA4版の縦置き横書きとし、ワープロを使用し、22字（字送り 10.35p）42行（行送り 16.8p）の2段組で作成したものとする。原則として（日本語の場合）、日本数学教育学会ウェブサイト掲載のテンプレートを使用する。本文のフォントは、MS明朝体 10.5ポイント、見出しはMSゴシック体 10.5ポイントとする。句読点は「，」と「。」を用いる。半角英数字についてはTimes New Romanを使う。
2. **表題の字数と書式** 表題は40字以内とする。副題がある場合、副題は30字以内とする。表題はMSゴシック体18ポイント、副題はMSゴシック体14ポイントとする。
3. **文体** 日本語の文体は「である」調とし、常用漢字並びに現代かなづかいを用いる。

4. **見出し番号の付け方** 章，節，項，等は番号と標題をつけ，系統立てて配列する．見出しの番号は，次の順とする．書体はゴシック体とし，左寄せとする．
 - ・ 章の見出し番号 1., 2., …
 - ・ 節の見出し番号 (1), (2), …
 - ・ 項の見出し番号 ①, ②, …
 5. **表・図の番号** 表・図の番号は，それぞれ，表 1, 表 2, 図1, 図 2, …のように通し番号をつけ，表や図の標題とともに入れる．表の通し番号と標題は表の上側に，図の通し番号と標題は図の下側に書くものとする．書体はゴシック体とし，中央揃えとする．
 6. **引用の仕方および引用・参考文献の記載形式** 別に定める「論文執筆における引用の仕方，及び引用・参考文献の記載形式」をよく確認し，それに従う．その他の確認事項は次の通りである．
 - ・ 引用・参考文献や注のフォントを小さくしたり，行間を詰めたりしない．
 - ・ 「引用・参考文献」という表記で統一する．
 - ・ 注書きは別に設定（文献の前に）する．「註」ではなく「注」に統一する．
 - ・ 「注」「引用・参考文献」の文字はゴシック，左寄せ（センタリングしない）．
 7. **英文での原稿執筆** 以下の2点に留意の上，執筆する．
 - ① 日本語の執筆要領に準ずる．ただし，日本語に固有の書式は，英文に合わせて改めて構わない．本文の基本フォントは，Time New Roman の 10.5 ポイントとする．
 - ② 2段組は行わずに執筆する．なお，余白等は日本語バージョンに従う．1 ページの行数は日本語の場合と同様に42 行とする．
 8. **ページ番号** 原稿にはページ番号を付さないこと．
 9. **審査** 論究部が審査する．原稿修正の必要がある場合，事務局よりその旨の連絡をする．
- ※ 書式の改変は一切認められない．上記 1～9 の要領に従っていない場合は，その時点で「不採択」と判定される場合がある．

II 提出方法

1. **提出ファイルと提出先** 原稿の「PDF ファイル」と「Word ファイル」の2つの文書ファイル形式のデータで、日本数学教育学会ウェブサイトから提出する。
2. **原稿ファイル名** 原稿の文書ファイル名は、「ポスター発表」「第一希望の分科会番号」「氏名」「タイトル（省略可）」を記載する。
例：宇都宮太郎さんが分科会 5 でポスター発表を希望する場合のファイル名
 - ・ポスター発表 5（宇都宮太郎）中学生の文字式の理解に関する研究.pdf
 - ・ポスター発表 5（宇都宮太郎）中学生の文字式の理解に関する研究.docx

※研究領域に近いポスター発表を、近い場所に配置する予定。

〈分科会〉

1. 数学教育学論，研究方法論
2. 教育課程（目標，評価）
3. 問題解決（数学的な考え方，指導法）
4. 数学的モデル化
5. 数と計算・代数
6. 図形・幾何，測定
7. 関数
8. 確率・統計
9. 言語とコミュニケーション
10. 証明（説明，論証を含む）
11. テクノロジー
12. 数学教育史，数学史の教育活用
13. 教師教育，国際協力
14. 教授・学習過程
15. その他

* 原稿作成についての問い合わせは、下記の大会事務局宛てとする。

宇都宮大学 共同教育学部
第10回春期研究大会 実行委員会事務局
e-mail: jsmespring10@sme.or.jp